

黒毛和種在胎日数の現状

【 1 成果概要】

岩手県分の繁殖情報を分析した結果、在胎日数は年々延長傾向にあり平成 14 年からの平均は約 289 日であり、分娩予定日の推定に用いている 285 日より 4 日程度長くなっています。在胎日数は、産子性別、産子生年、産子生月、産次、地域の影響を受けています。

(在胎日数の現状)

- ・ 従来から用いられてきた黒毛和種の在胎期間より延長傾向にあり、約 20 年間で 2 日程度長くなっています。
- ・ 平成 14 年からの平均は約 289 日であり、分娩予定日の推定にもちいている 285 日より 4 日程度長くなっています。
- ・ 産子生月別では、特に冬に、産次別では、産次が進むにつれて長くなります。

(在胎期間に影響を与える要因 表 1・図 1)

- ・ 在胎日数は、産子性別、産子生年、産子生月、産次、地域に影響を受けます。
- ・ 在胎期間の遺伝率は、一般的な繁殖形質(初産月齢、分娩間隔)の遺伝率に比べ高い値であり、0.31 と中程度です。

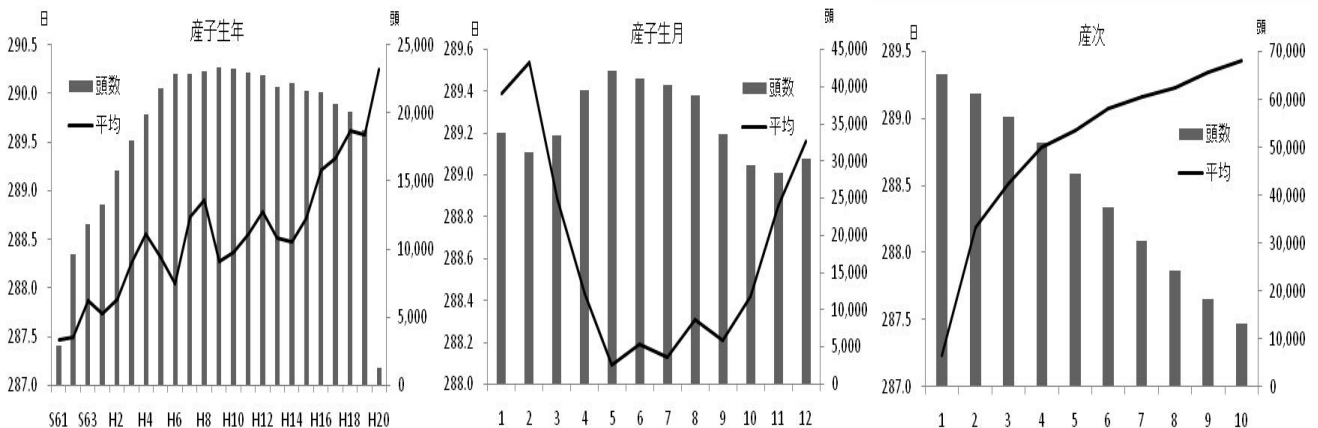


図 1 産子生年、産子生月および産次における在胎日数の推移

表 1 在胎日数に影響を与える要因

	産子性別	産子生		産次	地域
		年	月		
有意差	***	***	***	***	***

*** P < 0.001

【 2 留意事項】

今回利用したデータは、社団法人全国和牛登録協会から提供を受けた県内で登録された雌牛の繁殖成績のうち、種付年月日と分娩年月日が明記されている産歴データから外れ値を除外した 421,885 頭分の在胎日数について、要因分析には、R の GLMM (一般化線形混合モデル) を用い、育種価推定には 1 形質アニマルモデル BLUP 法を用いて分析を行いました。

【 3 効果】

適正な交配、繁殖管理指導の資となります。

【 4 適応対象】

農業普及員等の指導者等